

第3次丹波市総合計画の施策体系案について

重要視点とは・・・
将来像の実現に向けて、計画全体に共通する、計画推進にあたって重視するもの。これを意識して、まちづくりの目標に紐づく施策立案や推進を進めていく。

【第7回審議会からの意見】
・「人口減少社会への対応・備え」が、他の項目と比較すると、問題として大きすぎないか。

【第7回審議会からの意見】
・「人の育成」は外から育てるというイメージになる。子どもだけではなく、大人も自ら育ち、学んでいくという環境をつくるのが大事だと考えると、「まちの未来を担う人づくりの環境」という表現はどうか。

【第7回審議会からの意見】
・「ふるさと丹波市らしさの継承」の「丹波市らしさ」というのが一体何を指しているのかが分かりにくい。大きくは、「人・空間・経済」の3点の表現の方法が良いのではないか。

【11/17議会からの意見】
・自然災害の激甚化・頻発化、地球環境問題への対応などを考えると、重要視点などに、安全・安心の視点を入れてほしい。

・「生物多様性」について、読み取れる箇所がない。水切れフィールドミュージアムでも取り組んでいるもので、丹波市の特色ある分野だと考えている。

◆修正案
・意見を踏まえた重要視点を追加してはどうか。

| 基本構想 | | 基本計画 | |
|--|--|---|---|
| 将来像 | 重要視点 | まちづくりの目標 | 施策分野 |
| ま な び と き め く み ん な の 未 来 へ の 里 | ま な び と き め く み ん な の 未 来 へ の 里 | 1【子ども政策】 楽しむ心がのびのびと育つまち | 子育て支援 |
| | | 〈設定理由〉 子育ては、子どもが育つだけでなく、大人も子どもに育てられる。子育てというステージで、「子育てが楽しい」、「まなび成長していくことが楽しい」といった、子育てに関わるすべての人が、楽しむ心が育つようなまちをめざす。 | 子どもの教育 教育環境 |
| | | 2【活躍政策】 多様な個性が創るまち | 市民活躍 |
| | | 〈設定理由〉 性別や年齢、国籍、文化の違いなどに関係なく、多様な個性が受け入れられ、一人ひとりが主役となり、その個性が活かされ、生涯を通じて互いにまなび、まなび合う交流から、魅力あるまちを創っていくことをめざす。 | 生涯学習 文化芸術・スポーツ 人権・男女共同参画・多文化共生 移住・定住 |
| | | 3【安全・安心政策】 みんなでいのちを守るまち | 防災 |
| | | 〈設定理由〉 行政のみに任せるのではなく、自分や自分の周りの人が一緒になって命を守っていくまちをめざす。 | 消防・救急 交通安全・防犯 |
| | | 4【健康福祉政策】 すこやかでしあわせに暮らすまち → (修正案) 暮らせる | 健康・医療 |
| | | 〈設定理由〉 病氣や障がいなどを抱えている人も、そうでない人も、誰もが心が健やかであり、幸せに暮らしていけるまちをめざす。 | 地域福祉 高齢者福祉 障がい福祉 |
| 5【産業政策】 産業がつながり活力がうまれるまち | 商工業 | | |
| 〈設定理由〉 商工業、農林業、観光の各々の施策のにぎわいを、産業間で連動させていくことで、産業全体の活力が向上するようなまちをめざす。 | 農林業 観光 | | |
| 6【くらしの基盤政策】 便利で快適に暮らせるまち | 土地利用・景観・住宅 | | |
| 〈設定理由〉 過疎地域などで暮らしている人や高齢者など、様々な条件下で暮らしている人がいる中で、誰一人取り残さず、暮らしが便利になり、快適に生活できるまちをめざす。 | 公共交通 道路・河川 水道・生活排水 | | |
| 7【環境政策】 自然と生きる環境にやさしいまち | 環境保全 | | |
| 〈設定理由〉 生物多様性をしっかりと守っていくとともに、地球温暖化対策にも取り組んでいくためには、市民みんなで環境にやさしい生活に関心を持ち、取り組んでいけるまちをめざす。 | 脱炭素社会 ごみ処理 | | |
| 8【行財政政策】 市民に開かれた効率的運営のまち → (修正案) 市民に開かれた行政を推進するまち | 行財政運営 | | |
| 〈設定理由〉 「誠実で先を見据えた行財政運営を行ってほしい」、「市民に寄り添った行政であってほしい」、「効率的に市民サービスが受けられるまちになってほしい」という市民の想いを実現できるまちをめざす。 | | | |

【将来像に込める想い】
○まなび … 人材育成、担い手確保、学校教育、社会教育、生涯学習、ふるさと学、故郷への愛着を育てる
○ときめく … 住んでいる人の充実感、市民が実感できる施策、前向きな姿勢
○丹(まごころ)の里 … 丹波市のオリジナリティ、認知度を高めたい、丹波市への愛着や誇り、緑豊かなふるさとのイメージ
○しあわせ輝く みんなの未来へ … 行政主導ではなく市民主体のまちづくり、市民の活躍、若い人(新しい世代)や女性の参画、多様性、市外の人から見て魅力的なまちをつくる、「帰りたい」「住んでみたい」と思ってもらえるまちにする、丹波市の魅力を外に発信していく

【11/17議会からの意見】
・将来像が丹波市のオリジナリティが出たものとなっていて、とても良いと思うため、まちづくりの目標やその設定理由についても、オリジナリティが反映されたものになったら良いと考える。

【第7回審議会からの意見】
・まちづくりの目標に関して、主語を「市民が」「地域が」「市民の」「地域の」としたときに、伝わる表現としたらどうか。

【11/1政策会議からの意見】
・全体のバランスを見て、違和感のある表現や漢字・平仮名の見せ方をある程度そろえた方が良いと思う。

【11/1政策会議からの意見】
・活躍政策において、「多様な個性が創るまち」なのか「多様な個性で創るまち」なのかという点が気になった。他の目標との整合性を回りながら、検討してはどうか。

【11/17議会からの意見】
・設定理由の下線の箇所の表現について、もう少し適切な表現がないか。

【11/1政策会議からの意見】
・健康福祉政策では「暮らすまち」、くらしの基盤政策では「暮らせるまち」となっており、表現の統一について検討した方が良い。

◆修正案
・健康福祉政策の「暮らすまち」を「暮らせるまち」に修正してはどうか。

【11/1政策会議からの意見】
・行財政政策については、市民に寄り添った行財政運営という視点と行政の無駄を省くといった視点をつなげていることから、少し表現が分かりにくいものとなっており、工夫ができればと考える。

【第4回策定委員会からの意見】
・市民に開かれた行政運営と効率的な行政運営の両方を合わせることで、分かりづらい表現となっている。
「ひらかれた市政を推進するまち」「持続可能な行財政運営のまち」など、もう少し検討の必要がある。
・「効率的運営のまち」という表現に違和感がある。趣旨としては「持続可能なまちづくり」の手段としての「効率的運営」であることから、「持続するまち」など、別の表現であればと思う。

◆修正案
・「市民に開かれた行政を推進するまち」と修正してはどうか。